



任天堂ゲームキューブと
9月14日同時発売!
税別



セガパンフコレクション



2001-2003

ハード撤退後編



ムキューブに
サの「クレタク」が
てきた!!



PS2を舞台に新しい「サクラワールド」の幕があ
2003年2月27日、開演

ドリームキャスト編以来1年ぶりの新刊となります。
セガがハードから撤退して以降、徐々にパンフ収集熱も冷めていしまいました。いつしか収集をやめてしまいました。既刊に収録していないパンフもそれなりに手元には残っていたのですが、ドリームキャスト編を作った時はこれを最後にしようと思っていました。

今回、新たに作ってみようと思ったきっかけが2つありました。即売会に来て頂いた何人もの方に「もう新しいのは作らないんですか?」とありがたいお言葉を頂いたのが1つ。

あと1つ。なんと海外の方からブログ経由でお問い合わせを頂いたのです。翻訳ソフトを使いながらやりとりをすると、その方はロシアに住んでいてドリームキャストの販促品とかコレクションしているとのこと。そしてドリームキャスト編を売ってくれないか?ということでした。

ロシアの方とどうやって金銭のやり取りをするのかも分からぬし、それよりも日本語を調べてウチのブログにたどり着いてくれたのが嬉しくて、その方にはデータをプレゼントしました。

そんなきっかけもあり、まだもう少しこのセガパンフコレクションを読んでくれる方もいるのかな、と思いもう一度制作に取り組んでみました。

セガが各社ハードへソフトを提供し始めたころの雰囲気をお伝え出来ればいいなと思っています。

今回で所有しているパンフはほぼ全て収録しましたので、セガパンフコレクションとしてはこれで最終巻です。

既刊をご購入いただいた方への感謝を込めて。

これを最初にご購入いただいた方は既刊のほうも是非(笑)

本作も最後までお付き合いいただけましたら、幸いです。

セガ和辞典出版局
WAT

前書き

ゲームボーイアドバンス「みんなでぶよぶよ」発売記念
「ぶよぶよ」新アプリが2つも追加!
わいわい遊べる 「ふたりでぶよぶよ」 NEW!

ついに出た! 対戦ぶよぶよ

人気のアプリ「ぶよぶよ」が、ついに二人対戦になって登場! なんと、一回の勝敗を二人で争って遊ぶ競争型のシステム。
ネットワーク対戦ではないからバゲットでもかからない。
親子で、友達同士で、カーブブルで、いつでもどこでも対戦「ぶよぶよ」を楽しもう!

壁面の2人対戦システム!

裏表の高かった対戦が、勇賤初の2画面分割システムによって実現。団のようになーに一台の携帯を二人で持ち合いで対戦するんだ。
画面は小さいけど両手は本物!

おじやまばよで攻撃!

連鎖を決めて相手の画面に「おじやまばよ」を送りこもう! 連鎖した数字多めのはいほど、降らせるおじやまばよの量もアップ。こきさえに消して防衛するか、一気に消して勝負を決めるか。
対戦はこれだから熱い!

じっくり遊べる 「ぶよぶよタスクモード」 NEW!

課題を次々クリアせよ!

一人でじっくり遊びたい人はこの「ぶよぶよタスクモード」! 毎回、「4連続せよ!」など課題がされ、時間内にそれをクリアしていく(どうぞとことん)一人用モードだ。はたして、何問クリアができるかな?

ゲームボーイアドバンス用ソフト
「みんなでぶよぶよ」にも収録

実は、10/18より発売のゲームボーイアドバンス用ソフト「みんなでぶよぶよ」にも同じゲームが収録されているぞ。先着で練習しゃうさう!

この他にもセガのゲームが楽しめる!

セガ i モード公式サイト

VF.NET

「モード」や「全国のバーチャルファイター4」が完全実装。任天堂風のスケルトン遊びをここに実現!

自分のデータや全国ランキングのチェック、全国のプレイヤーとのコミュニケーションなどが楽しめます。

Original Game © SEGA (C)SISAGA・SEGA AMG, 2001

ヴィーナス・バラディス

多岐多様な恋愛ストーリーライン。様々なキャラクターたちが抱く恋愛感情を描いた恋愛ゲーム。

© 2001 Venus-Baradis Co., Ltd.

UFOキャッチャー

アプローチ判定でゲット! プレゼントを貰うためボンボンの操作を熟练させて、セレクトボタンを押す。

© CD Projekt

この他にも、まだまだ魅力的なゲームが盛り沢山!

大江戸355
大江戸365

The相撲
-心・技・体-

ラリーチーム
「どうこう」

ウチュウジンダ!

サクラ大戦ケイタイクラブ
恋空アドレ

COOL ENGLISH
セガ

SONIC CAFE 2001/初旬発行 NTTドコモ iアプリ

A4 3つ折り形式。今で言うガラケー（フューチャーフォン）向けアプリの月額サイト「SONIC CAFE」の紹介です。併せて公式サイト「SEGA MODE」も紹介されています。

いろんなゲームが遊び放題！

SONIC CAFE

http://m.sonicteam.com/cafe/

「ソニックカフェ」へは、以下の手順でアクセスしてね！

i Menu
▼
メニューリスト
▼
iアプリメニュー
▼
ゲーム
▼
ミニゲーム
▼
ソニックカフェ

(複数) NTTドコモ/iPad全機種対応
(月額) 300円(888)

世界最速の
ハリネズミ

QUALITY SONIC ソニック・ザ・ヘッジホッグ THE HEDGEHOG

リングを取りつつ駆け抜けろ！

(C)SEGA/SONICTEAM SONIC THE HEDGEHOG

HiScore: 0

あの速さのハリネズミ、ソニックが携帯に登場！ リングを集めながらゴールまで駆け抜けける痛快スピード・アクションだ。

全国ランクインも開催されているから、自分が何位かすぐにチェックができるぞ。

イカすキャラクター時計もプレゼント中！

ノリノリ
音ゲー

SERVICE サンバ DE アミーゴ

サンバで遊んで着信メロディをもらおう！

【EASY】 HIGH

サンバアミーゴ

【NORMAL】 HARD 1: LONGA SUSTENAR

全世界のゲームセンターで大ヒットした『サンバ DE アミーゴ』のアプリ版。

マラカスしゃなくって10キーを使うけれど、テンションの熱気はそのままだ！

クリアすると、なんと最新ヒット曲の着信メロディがもらえるサービスつき。

こいつはお得だぞ！

懐かしの
超名作

MEMORIAL OutRun (アウトラン)

3つのBGMごとにコースを用意

(BEST) 59'59"

OutRun (アウトラン)

セガ初年の名作ドライビングゲーム『OutRun』が、アプリとなって帰ってきた！

車の車をピニック走りで走るよさは格別。アーケード版からアーケード版のために、3種類のBGMごとにコースが用意されているのも、迷せないぞ。

全国ランクインも開催中。

超充実！ 収録アプリ一挙掲載！

他にもこんなゲームが目白押し！

囲んで
ヨモギ NiGHTS (ナイツ)

光をあつめて敵を倒もう！ ソニックチームの人気キャラクター『NiGHTS』を主人公としたアクションパズルで遊ぶよ。

ハイスクアを送れば待受画面もゲット！

バズルズ
爆破大 チューチューパズル！

ドリームキャスト版『チューチューパズル』のバズルズモード。『チューチューパズル』を使えばオリジナルバズルも創れるぞ。全国のユーザーに挑戦だ！

伝説のロボ
ジーライフ

セガ史上に燐然と輝くあの『スペースハリアー』がアリ变得更になった！ シューティングの歴史を変えた名作が再びみえる。ついに再発もここまでできた。

スペースハリアー

大人気！
恋しゲー

ふよふよ

あの『ふよふよ』がスマートフォンでいつでも遊べる！ なりはっちゃくても面白さはオリジナル版と変わらないぞ。

これまで実時間は『ふよふよ』三段！

ボップ&
カラフル ファンタジーゾーン

希望の高かった『ファンタジーゾーン』のアプリが！ 今回は『ボスの逆襲』と題して、ボス戦を続けて楽しむ内容になっているぞ。

名作リスト
クリヤー

ペンゴ

初期の名作ゲームが、アリで復活！ ポップでかわいいベンパンの『ベンゴ』が、画面内を所狭しと駆け回るアクションパズルだ。全50ステージ。

競走と
スピード どきどきベンパンランド

勝手をこじらかして彼女のところまで無事に運ぼう。途中のカムフラモードには要注意！ ミニの競走とスピードが試される。10ステージ全クリアできるかな？

これら全部遊べて
月額300円！

月額で遊べるタイトルの紹介です。ソニック、サンバDEアミーゴ、アウトランがメインで紹介されています。

最初に紹介するのはなんとi-mode向けのパンフです。2001年は各携帯キャリアからJavaというプログラム言語に対応した端末が発売されました。今までのブラウザを使用した簡易的なゲームから、簡易的なものならアクションゲームも出来るようになるという、携帯電話向けゲームの大きな転換期の年でした。



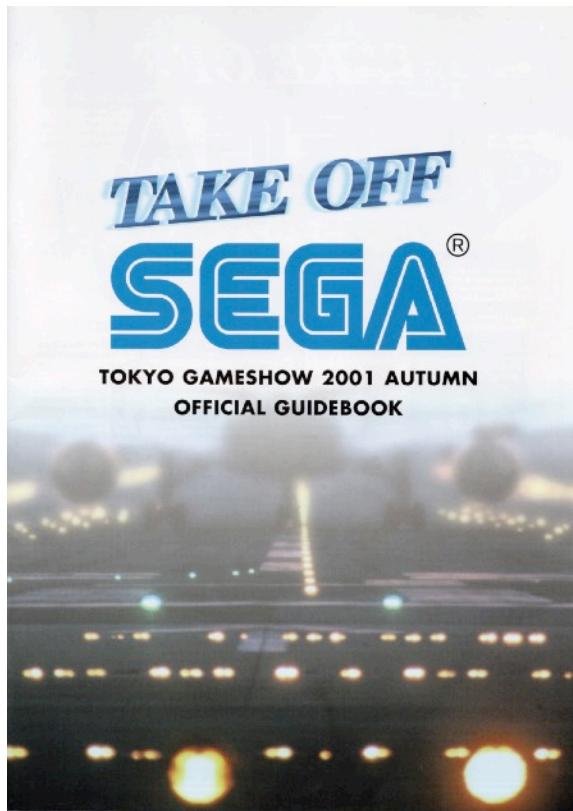
スーパーモンキーボール（セガ） 2001/9/14 ゲームキューブ

4ページ構成。表面にはメインイラストと共にゲームキューブ本体の写真を揭示しロンチタイトルであることをアピールしています。裏面はなんとDoleのバナナの広告です。



見開きでの内容説明となります。4人プレイを強調しているのはゲームキューブが標準で4個コントローラーを接続出来ることを意識したものと思われます。

アーケード「モンキーボール」の移植作。汎用筐体でしたが、スティックがバナナを模していたのはインパクトがありました。その後携帯ハードに採用されていく傾きセンサーやタッチパネルと相性の良いゲーム性だったこともあり、携帯ハードを中心に定期的に続編が出ています。



TAKE OFF

SEGA®

**TOKYO GAMESHOW 2001 AUTUMN
OFFICIAL GUIDEBOOK**

SEGA TOKYO GAMESHOW 2001 AUTUMN OFFICIAL GUIDEBOOK 2001/9/15配布

東京ゲームショーで配布されたパンフです。TAKE OFFというキャッチコピーで戦闘機が発進する写真が使用されています。

セガの開発子会社10社の紹介と、セガブースのマップ、ステージイベントが紹介されています。

セガがドリキャス撤退を発表したのは2001年1月31日。2001年春のゲームショーは不参加だった為、ハード撤退後初のゲームショー出展となったセガ。「TAKE OFF」「マルチプラットフォーム宣言」というキャッチコピーにはそういう意味が込められています。

PSOのゲームキューブ版、Windows版を見開きで紹介しています。ページ下部に「SEGA NETA」という枠を設けてどういうゲームなのかを紹介。従来のセガファン以外にもわかるような構成にしてあります。

PSOと並んでセガの看板タイトルだったバーチャファイター4も見開き2ページで紹介しています。鈴木裕氏のコメントも掲載されています。

各ハードごとのイチオシタイトルを見開き2ページとして掲載しているよう、ゲームキューブはPSO、プレステ2はバーチャファイター4を見開きにしています。



ユナイテッドゲームアーティスツのREZとスペースチャンネル5 Part2が紹介されています。「うらら、PS2でリポート開始！」というコピーからも、あくまでプレステ2版をメインにしていることがわかります。



その他プレステ2タイトルの紹介で、サカつく2002以外はすべてドリキャス既発タイトルの移植となります。

移植版になると権利関係からかオフスプリングのBGMが差し替えられることで有名（？）なクレイジータクシーですが、プレステ2版はBGMそのままで移植されました。唯一メガCDからの移植であるSWITCH。なぜこのタイミングで移植されたのは今でも謎です。

ソニックシリーズの2作「ソニックアドベンチャー2バトル」「ソニックアドバンス」が紹介されています。このページに限りませんが「あのソニックがニンテンドー ゲームキューブに～」といったように、セガが他社ハードに参入することを強調するコピーが並んでいます。

任天堂ハード向けのその他タイトルの紹介です。すでに発売されているスーパーモンキーボールも紹介されています。

タイトル数を揃えるために「開発に時間のかかる据置ハード向けは移植タイトル中心」「比較的短期間で開発できる携帯ゲーム機向けはオリジナルタイトル中心」という傾向が見て取れます。

Xbox向けのイチオシタイトルとしてジェットセットラジオフューチャーが紹介されています。

Xbox、そしてWindows向けタイトルの紹介です。当時流行っていたタイピングゲームが2タイトル紹介されています。

『ジェットセット ラジオフューチャー』は発売日未定となっていますが、Xboxのロンチタイトルとして発売されます。Xbox向けタイトルはドリキャスからの移植ではなく、続編またはオリジナルタイトルとなっているのが特徴的です。

The image is a full-page advertisement for the game 'Sakura Wars 4'. It features a large title 'サクラ大戦4' (Sakura Wars 4) at the top right, with the subtitle '恋せよ乙女～' below it. To the left of the title is a portrait of the five main female characters. The background is a light blue with white cherry blossom petals. The central part of the ad contains several screenshots from the game, showing characters like Sakurako, Yuki, and others in various settings. Large vertical text on the left side reads 'サクラワールド まだまだ広がる' (Sakura World, still growing). At the bottom, there's more text about the game's release and its features.

サクラ大戦シリーズの紹介ページです。ドリキャス、ゲームボーイカラー、そしてiモードと、マルチな展開がされていたことがわかります。

からはドリキャス向けタイトルの紹介ページとなります。ぐるぐる温泉2はドリキャス版が既に発売されており、プレステ2版とWindows版が発売予定となっている状況でした。

ゲームボーイカラーはセガがドリキャスを撤退する前からサクラ大戦GBで参入していたこともあり、既に続編の2が紹介されています。

イチオシタイトルとして風来のシレン外伝女剣士アスカ見参！が紹介されています。

ドリキャスのその他タイトルと、携帯電話向けサービスの紹介です。

J-PHONEはボーダフォンを経て今のソフトバンクモバイルのことです。念のため補足説明です。NTTが固定電話向けモードとして販売したものの全く普及しなかった「Lモード」にもコンテンツを提供していたんですね、＼＼＼＼＼。

The cover of the October 2001 issue of SEGA-PRESS magazine. The title 'SEGA-PRESS' is at the top in large, stylized letters. Below it is a large image of a yellow taxi from the game 'Crazy Taxi'. The text 'CRAZY TAXI' is overlaid on the image. To the right, there's a red circular stamp-like graphic containing the word '準備号' (Preparation Number). In the bottom left corner, the PlayStation 2 logo is visible.

セガプレス 準備号 2001/10月発行

4つ折り8ページ構成。ハードの撤退に伴い、総合パンフレットはドリームインフォメーションから名前が変わりました。ドリキャスのみ他メーカーのタイトルも含まれているのもありますが、裏面の発売予定リストはまだ半分以上ドリキャスのタイトルが占めています。



イチオシタイトルの紹介です。ドリキャスのタイトルはRezのみと、あくまで他社ハードのタイトルを優先した印象を強く受けます。

ドリキャスタイルがまだ多く紹介されていたので、この準備号のみ、ドリキャス編にも収録しました。

見開き4ページで、ドリキャス、携帯電話、セガPCタイトルの紹介となります。

ドリキャスユーザーの期待も高かったプロペラアリーナは完成していたにも関わらず、発売直前に発売延期となりそのまま発売されませんでした。9月11日に発生したアメリカ同時多発テロが原因と言われています。それよりもっとヤバいと思われるボンバーへッヘは延期こそしたもののが発売されたんですけどね、、。

セガプレスvol.01 2001/11月発行

4つ折り8ページ構成。表紙はドリキヤスとプレステ2で発売されたRezです。準備号からあまり間を開けず発行されたものですが、表面のロゴや裏面の発売予定表のデザインに大きく変更があります。

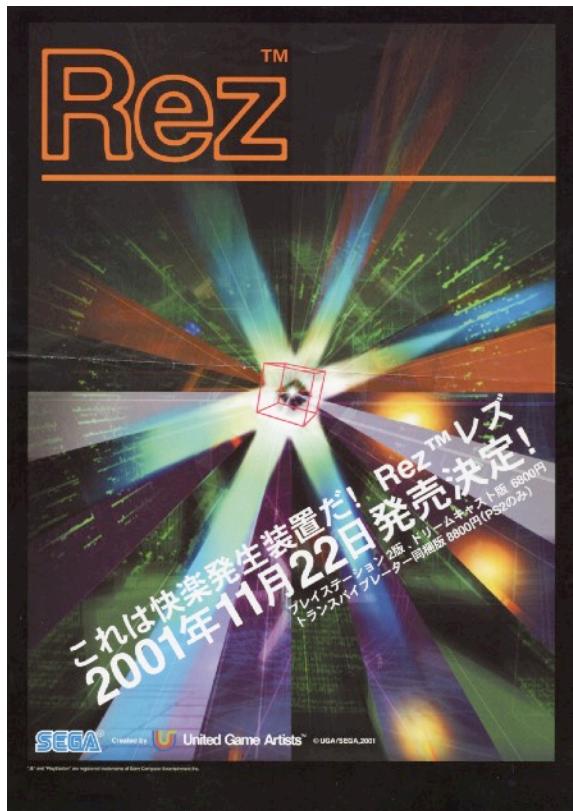
イチオシタイトルの紹介です。イチ押しタイトルとしてドリキャスの「風来のシレン外伝 アスカ見参！」が取り上げられています。

アスカ見参！は、セガからチュンソフトにシレンシリーズの発売の打診があり実現したタイトルです。チュンソフトは監修という立ち位置で、開発はネバーランドカンパニーで行われました。シレンシリーズの中でも評価の高い1作です。



見開き4ページ。スーパーモンキーボールのアイアイをマスコットキャラに配し「サルにも出来る！？お楽しみソフト大集合！」というキャッチコピーです。この後ほぼ毎月発行されるセガプレスですが、アイアイは継続してマスコットキャラとして登場することになります。

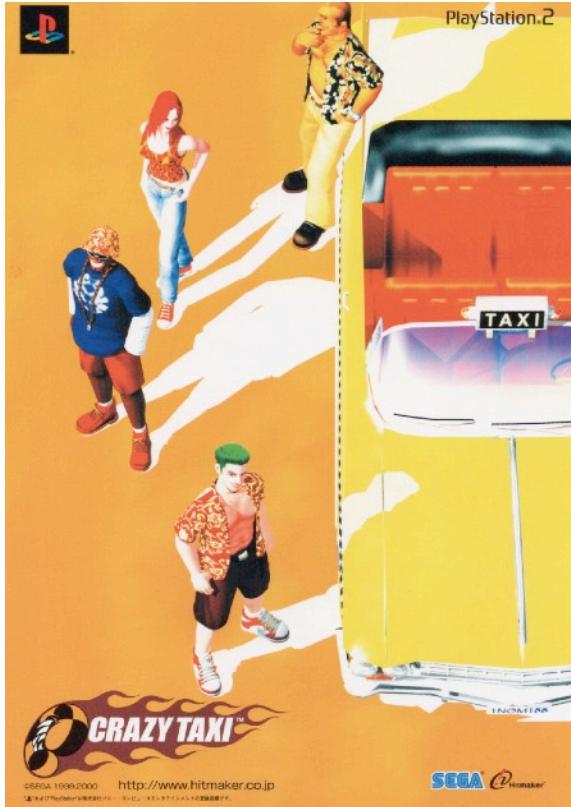
ドリキャスからの撤退があったとはいえ、まだ紹介タイトルとしてはドリキャスタイルが中心となっています。左下で紹介されていますが、J-PhoneのJavaアプリのイメージキャラクターとしてスペースチャンネル5のうららが起用され、J-PhoneのJava対応各機種にうららのアプリがプリインストールされたのも当時話題となりました。



Rez (セガ) 2001/11/22 ドリームキャスト プレイステーション2

2ページ構成。Rezのイメージカラーであるブラックとオレンジを多く使ったデザインとなっています。画面写真を見てもゲーム内容が伝わりにくいと考えたのか、裏面は事前に体験したユーザーやライターの感想にほとんどのスペースを割いています。

推奨はされないのでしょうが、部屋を暗くして大音量でプレイすると没入感が高まって面白かったです。



アーケード、そしてドリームキャストで人気を博した何でもアリな車ゲーがついにPS2に登場！

イエローキャブで西海岸風の街を爆走するドライビングアクション！お客様を乗せ、いち早く届けるため猛スピードで豪快にブッ飛ばす！早く着ければそれでOK！どこをどう走ろうがおかまいなし!!他の車をなぎ倒してもNO PROBLEM！従来のレースゲームとは違ったダイナミックな走りと爽快感満載のカーアクション！それが「CRAZY TAXI」！

CRAZY TAXI／クレイジータクシー

Playstation 2専用ソフト／ドライビングアクションゲーム

¥5,800（税別）

2001年11月22日発売予定

DUALSHOCK、DUALSHOCK2対応

クレイジータクシー（セガ） 2001/11/22 プレイステーション2

ポストカードサイズ。サイズも珍しいですが、画面写真が一切無いと言う点も珍しいです。何かの媒体に挟み込む用途で作られた可能性があります。

オープンワールドのレースゲームが当たり前になった今、クレイジータクシーの新作はいつでもおかしくないと思っているのですが、3（ハイローラー）から18年が経ってしまいました、、、。

The image shows the front cover of the December 2001 issue of SEGA PRESS magazine. The title "SEGA PRESS" is prominently displayed at the top in large blue letters, with "セガプレス" written below it in Japanese. A small "Vol. 02" and "December 2001" are also visible. The central focus is a vibrant illustration of the main cast from the game Sonic Advance 2. It features Sonic the Hedgehog, Tails, Knuckles, Amy Rose, and Eggman. The title "ソニックアドバンス2 バトル" (Sonic Advance 2 Battle) is overlaid on the bottom left of the illustration. To the right, there's a vertical banner with the text "新しい遊び発見!" (Discover new fun!) and "青い福袋がGBCを駆け抜ける!" (A blue gift bag dashes past the GBC!). At the bottom, the release date "2001年12月20日同時発売予定" (Scheduled for simultaneous release on December 20, 2001) is written, along with the "Sonic Advance" logo and "Sonic Advance" text.

セガプレスvol.02 2001/12月発行

4つ折り8ページ構成。表紙はソニックアドベンチャー2バトルとソニックアドバンスです。



ソニックアドベンチャー2バトル、ソニックアドバンス、バーチャファイター4の紹介です。ソニック2作については、ゲームキューブとゲームボーイアドバンスのデータ連動を強調した構成になっています。

ゲームキューブとゲームボーイアドバンスの連動については、ハードホールダーの任天堂もあまり良い活用法を示せていないかった中、ソニックチームは積極的にこのデータ連動を採用していました。



見開き4ページ。クリスマス前ということでアイアイはサンタのデザインとなっています。掲載内容は前号と大きく違いはありません。

サクラ大戦オンラインは「open dice」というシステムに対応しており、対応ソフトのぐるぐる温泉2などとユーザー情報やフレンドリストを共有できるようになっていました。今のネットゲームでは当たり前のことですが、当時のネットゲームはそんな当たり前の機能も無かったです。たならばの話ではありますけど、ドリキャス本体に最初からこれらの機能が搭載されていて、フレンドがオンラインになっているかとか、どのゲームを遊んでいるかがわかるようになっていたら、ドリキャスのネットゲームは格段に活性化したいのではないかと思っています。

この年はセガにとって大きなターニングポイントになった年です。1月31日にドリキャスの生産中止とハード事業からの撤退を発表。3月16日にはドリキャスの最後を見届けるように大川功会長が亡くなりました。

ハードメーカーからソフトメーカーへの転換は簡単なことでは無かったと思われますが、秋のゲームショーの時点では任天堂、ソニー、マイクロソフトの各ハード向けに多数のタイトルを発表し、セガの開発ポテンシャルの高さを見せつけました。

パンフレットという観点からすると、ネットの普及もあり単体タイトルのパンフレットは減少し、毎月発行される総合カタログ

「セガプレス」の発行が中心となっています。コレクターとしては悲しいところですが、徐々に紙のパンフの必要性が低くなってきたことを感じます。

Talk about 2001